



# ICT分野の実証環境「NICT総合テストベッド」の利用方法と その利用事例



## 概要

「NICT総合テストベッド」は、研究開発推進と社会実装加速のために利用いただけるICT分野の実証環境として、多くの機関に活用されています。総合テストベッド事務局は、利用の相談、手続きのご案内、事例紹介等を行っています。

## 利用手続き



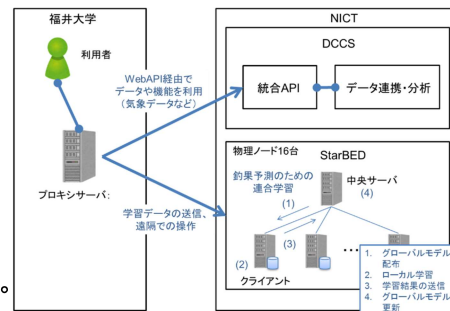
## 利用できる機関

- 研究開発を目的とした利用で、NICTと共同研究契約を締結できる機関
- NICTの委託研究受託者、助成事業者

## 利用事例

釣果予測を行い遊漁権のダイナミックプライシングの導入を目指した研究。テストベッドが提供する物理ノード16台を使って、中央サーバと100超のエンドデバイス（ユーザ）を想定した、連合学習による釣果予測技術を検証。今後は、分析精度を上げるためテストベッドが整備する気象データなどと連携し、Beyond 5G無線通信の実験フィールドで実デバイスによる検証を行う予定。

福井大学 連合学習を用いた遊漁券ダイナミックプライシング



## 特徴

- インフラからサービス開発環境まで幅広く提供しているため、研究開発の分野・段階に合わせて実証環境を構築可能
- 多様化する研究開発にあわせ、専門コンサルティングを提供。希望の実証環境を短期間で実現可能

## ユースケース

- Beyond 5G時代の技術標準化に関連する、相互接続性検証の実証環境として活用
- データ分析・流通基盤とエミュレーション環境を組み合わせ、Beyond 5G時代の価値創出に向けたCPS (Cyber Physical System) サービスの検証環境として活用

## 今後の展開

- 利活用促進策の検討を行う関連フォーラム、利用者コミュニケーション等を通じて得られるニーズを吸い上げ、これらを反映した利活用環境の拡充
- より多くの研究者・開発者に利活用いただけるよう利活用事例やノウハウの整備、試用機会の提供

## 【お問合せ先】

オープンイノベーション推進本部 ソーシャルイノベーションユニット 総合テストベッド研究開発推進センター  
Mail : tb-info@ml.nict.go.jp